

人権教育研究テーマシート

担当 （分掌、学年部、教科等） <p style="text-align: center;">国語</p>	実施時期 <p style="text-align: center;">通年</p>
テーマ <p style="text-align: center;">生き生きと学ぶ授業づくり</p>	
「静岡県が目指す基本的な方向性」との対応 ① 人権に対する正しい理解を深めること （対応する番号に を記載する。複数選択可） ② 人権感覚を高めること 参照：静岡県教育委員会「様々な人権問題と人権学習」 ③ 自尊感情を育てること	
内容 <p>生徒一人ひとりの力に応じて、良い点・努力した点を認め、ほめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋭い意見を発表した時、出来なかったことが出来るようになるなど、成長が見られた時、ほめる点を見逃さず、タイミング良くほめる。 ミスをした生徒や、授業内容の理解が不十分な生徒を孤立させない。 ・生徒のちょっとしたつづやきを拾い上げる。（正誤問わず） ・グループワークやペアワークで発言しやすい、聞きやすい雰囲気づくりをする。 ・生徒同士が互いに教え合う機会を設ける。 他者の意見をしっかり聴く態度を育てる。 ・自分と異なる価値観や意見を切り捨てず、理由や説明をきちんと聞くことの大切さを教える。 ・我関せずの態度や無反応な姿勢は改めさせ、相手の気持ちになって話を聞く姿勢を身に付けさせる。 	
実施後振り返って <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の様子・感想・変化など <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような意見も拾い上げて認めることで生徒に自尊感情が芽生えた。 ・ グループワークを通して互いに協力し合う様子が見られた。 ・ グループワークやペアワークを行うことで自分の意見に自信を持つことができ、全体にも発表することができるという場面があった。 ・ 実施した教員の感想・意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループやペアでの教え合いによって温かい雰囲気ができていくと思う。 ・ 生徒同士の交流の際に、まずは否定せず相手の意見を認めることの大切さに気づけたと思う。 ・ 自己肯定感の乏しい生徒が自発的に学習にむかう姿勢を身につけるには、まず他者から認められているという経験をさせることがきっかけとなると感じた。 	